富屋地区まちづくり連絡協議会ＨＰ▶

富屋地区
シンボルマーク

みんなで 仲良くやっぺ ふるさと富屋

115号
2025（令和７年）
９月発行
広報とみや

富屋の魅力を発信!! 広報部会が始動

富屋地区まちづくり連絡協議会は、富屋の魅力である「豊かな自然・伝統的な行事・文化・人々の温かさなど」を地域内外に発信することにより富屋の新たなよさに気づき、郷土への誇りや愛着が持てるように、また、富屋の知名度を向上させ経済の活性化や地域外との交流を促進するために、今年度から広報部会を新設し活動を始めました。これまでの『広報とみや』や『ホームページ』に加えて、『インスタグラム』、『X』、『YouTube』を開設し、幅広い世代の方にも発信していきます。

＝ 今、「とみや 日本一の夫婦けやきプロジェクト」が進められています ＝

夫婦けやきは、奈良時代から続く智賀都神社の鳥居の両脇にあり、２本とも樹高40mを優に超える巨木で「日本一を誇る夫婦けやき」です。まちづくり連絡協議会では、この夫婦けやきを活かして地域の活性化を図るプロジェクトに取り組んでいます。

プロジェクトの内容は……

☆のぼり旗を作成し、８月24日に日光街道と参道にはためかせました。紫色の「日本一の夫婦けやき」「智賀都神社」ののぼり旗です。

☆富屋特別支援学校の生徒が作成したポストカードを活用した「けやき参拝記念府」を作成中です。

☆ポスターやチラシを作成し、掲示をしたり配布したりします。

☆夫婦けやきの民話を作成し、動画にしたり富屋小学校の民話活動で活用したりします。

富屋公式ＳＮＳはこちらから!!
富屋の情報は、右記のQRコードを読み取りご覧ください。

X　インスタグラム　YouTube　ライン

自治会だより

稲荷神社の修繕

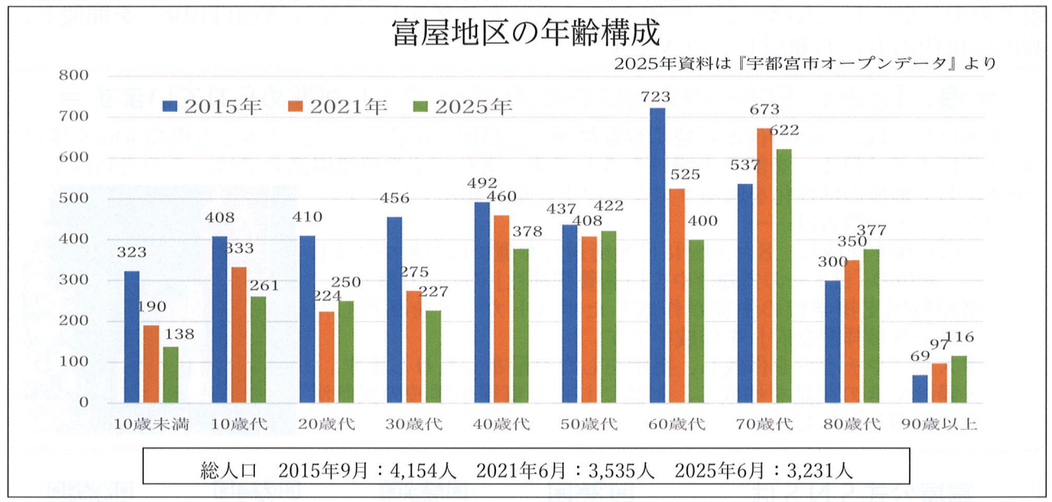
徳次郎田中自治会は上田中11戸、下田中10戸、総数21戸の集落です。通常行事は、上、下、全戸全員の出席で行いますが、祭典については別々に行うことがあります。そんななかで上田中の御祭は毎年11月の第３日曜日に行われます。稲荷神社の御祭でいくつかの御祭を1日にした大祭です。この大祭が行われる稲荷神社の屋社が、長年の風雨にさらされ朽ち始めているため、上田中全員で相談したところ直すことになり、大工さんに頼むところは大工さんに、自分たちでできること、特に基礎の部分は舘野秀和氏をリーダーの元で、３月15日㈯各自自前の道具を持ち寄り修繕作業を行いました。思った以上の出来栄えに、私たちはもとより神様もお喜びのことと思います。農作物の豊作の予感、集落団結、安泰の感も深まり、秋の大祭が楽しみです。田中自治会のますますの発展を祈願したいと思います。　（徳次郎田中自治会長　入江　均）

敬老者（75歳以上）899名に 富屋地区の28%

９月14日㈰、富屋地区敬老会が富屋地区市民センターホールで開催され、100名を越える方々が参加しました。中でも、山王団地にお住いの飯塚正五様は100歳を迎えられ、今回の敬老会に参加してくださり表彰を受けました。長生きの秘訣は、「食べること、飲むことなど何事も人生八分目」ということでした。

敬老会は、式典、富屋小学校６年生による民話語り、剣詩舞、お楽しみ抽選会という内容で行われました。皆さん笑顔で楽しいひと時を過ごしました。

この機会に、ここ10年間の富屋地区の年齢別人口をグラフに表してみました。少子高齢化が顕著であり、特に10 ～ 30歳代の人口減少、70歳代以上の人口増加が分かります。



総人口　2015年9月：4,154人　2021年6月：3,535人　2025年6月：3,231人

富屋に学ぶ子どもたち

○富屋小学校　富屋の子　元気・根気・思いやり

校長　大渕　敬史

富屋小学校は今年創立152年を迎え、本校の目指す児童像である「元気でやりぬく子、自分で考え進んで学ぶ子、仲間のために考えはたらく子」の実現に向けて、全校児童110名が毎日明るく元気に活動しております。

ホタル学習

また、本校の特色ある活動として行っている、保育園等との交流、富屋町探検、ホタル学習、民話活動など、学年ごとに地域と連携した富屋地区ならではの活動や、運動会「ファイト！とみや」や「収穫祭」など児童がとても楽しみにしている学校行事も、地域や保護者の方々の協力あってのものです。

全校民話集会

これら地域の方々との触れ合いは、児童の豊かな心の醸成には欠かせないものですので、本校は引き続き「地域に根ざし、地域に開かれた学校」を目指してまいります。地域や保護者の皆様にはいろいろとお世話になりますが、ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

富屋の歴史・文化ガイド養成講座

富屋生涯学習センター主催の「富屋の歴史・文化ガイド養成講座（全５回）」が６月から７月にかけて開催され、35名の方が参加しました。今回の講座は、参加者の皆さんが富屋の豊かな自然や多くの歴史遺産と出会うことで当時の人々の努力や富屋の魅力に気付けていただけるようにと、「①徳次郎石採石場跡」、「②徳次郎用水堰・宝木用水堰」、「③下横倉城跡・徳次郎城跡」、「④徳次郎用水・宝木用水」、「⑤人車鉄道富屋線跡」の５か所の現地研修を行いました。

徳次郎石の蔵

参加者の皆さんからは、「採石場で間近に見た徳次郎石は青みかかって美しいと思いました。」「徳次郎用水と宝木用水を堰から辿ることで昔の人の苦労や努力がしのばれました。」「下横倉城跡と徳次郎城跡とも掘や土塁がしっかり残っていてびっくりしました。」「実際にその場に行って見たことで歴史を感じたり、新たな発見があり良かったです。」「東京から２回の参加でしたが、とても濃い２回でした。」などと嬉しい声が届きました。

下横倉城跡

徳次郎用水

ふるさと再発見㊺

二宮金次郎の宿舎跡

徳次郎町には二宮金次郎（後の尊徳）が、実際に寝泊まりした宿舎跡があります。上田中の池田家住宅です。金次郎は江戸時代後期の嘉永５年（1852）に、石那田町仲内にある田川から取水施設「石那田堰（徳次郎六郷用水堰）」を改修するため、当地区を訪れました。当時名主であった池田家に、同年３月から９月までの７ヵ月間滞在しました。期間中、堰の改修に合わせ、用水路の改修も手掛け工事に専念しました。

宿舎となった池田家の母屋は、嘉永３年（1850）、越後の大工によって建てられたもので、当時は新築間もない建物でした。間口11.5間（約21m）×奥行き5.5間（約10m）、建坪63坪（208㎡）という堂々たる家です。玄関が２ヵ所あり、座敷は下の間、上の間、奥の間の３つに分かれていて、金次郎は書院と床の間付きの奥の間に滞在して仕事に当たりました。金次郎が愛用した机とともに、直筆の文書が今も大切に保管されています。（文化財調査員　池田貞夫）

小学生と高齢者で「モルック」を楽しみました

５月26日(月)、富屋小学校体育館において、富屋地区社会福祉協議会と富屋地区体育協会との共催で第１回ふれあい会が行われ、「富屋小学校３年生」と「ひとり暮らし高齢者」の対戦でモルックの競技を行いました。この競技を行うのは皆が初めてです。競技が始まると、一人ずつ順番にモルック（木の棒）を３m先のピンに向かってねらい投げ、倒れるたびに歓声が上がり、会場は大いに盛り上がりました。

競技終了後には表彰式が行われ、小学生から高齢者への手づくりメダルのプレゼントがあり、楽しい交流となりました。

暑さに負けず 富屋地区球技大会!!

６月29日(日)に、炎天下、富屋地区体育協会主催の球技大会が開催され、富屋地区市民センターを含めた８チームが参加しました。

競技は、ボウリング・ソフトボール・グランドゴルフ・ソフトバレーボールの４種目で卓球は実施しませんでした。卓球に変わって、「モルック」の体験コーナーを設け、自由参加で競技を行い大変盛り上がりました。幅広い年齢層の方々が集い、笑い声や歓声が上がり、楽しく競技を終えました。

総合優勝 … 東　部
準 優 勝 … 西　部
第 ３ 位 … 南　部

６年ぶりに開催 親子レクリエーション「マスのつかみどり」

８月17日(日)に、まちづくり連絡協議会青少年健全育成部会の主催による親子レクリエーション「マスのつかみどり」が６年ぶりに二宮堰公園で開催されました。今年は台風の心配もなく猛暑となりましたが、川のせせらぎや木陰での涼しさもあり、つかみ取りには最適なものとなりました。参加者は、子供、保護者、来賓など約200名で、普段は静かな川辺が賑わい、地域間の交流ができたひと時でした。

子供たちは、「最初川に入ったら、ヌルヌルして気持ち悪かったけど、慣れたら楽しくなった。魚もつかめた。」「焼きたてのマスはおいしかった。」と初めての体験に歓声を上げていました。

開催の前日は、まちづくり連絡協議会環境部会・青少年健全育成部会・各自治会長の方々の手による清掃や準備が行われ、きれいに整備された公園で気持ちよく活動ができました。

富屋地区のデータ
（令和7年8月末日現在）

世帯数	1,602世帯
総人口	3,242人
男　性	1,525人
女　性	1,717人

今後の主な事業計画

10月25日(土)　ファイト！とみや2025
11月２日(日)　とみやふるさとまつり
11月30日(日)　とみやそばまつり
11月30日(日)　徳次郎宿ツアー

■ 編集・発行 ■
富屋地区まちづくり連絡協議会
〒321－2116
宇都宮市徳次郎町80番地２
（富屋地区市民センター内）
☎028－665－1663